

平成28年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 藤森工業株式会社

コード番号 7917 URL <http://www.zacros.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山 英士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理部門管掌 (氏名) 吉野 彰志郎

TEL 03-6381-4211

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 22,650 | △4.5 | 1,680 | △26.2 | 1,619 | △33.5 | 1,013 | △35.4 |
| 28年3月期第1四半期 | 23,729 | 5.8 | 2,277 | 14.3 | 2,433 | 17.2 | 1,568 | 9.7 |

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 1,128百万円 (△27.5%) 28年3月期第1四半期 1,555百万円 (11.7%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第1四半期 | 53.25 | 52.85 |
| 28年3月期第1四半期 | 81.87 | 81.34 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 29年3月期第1四半期 | 89,186 | 54,376 | 59.9 | 2,808.01 |
| 28年3月期 | 88,524 | 53,881 | 59.8 | 2,781.02 |

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 53,443百万円 28年3月期 52,929百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 28年3月期 | — | 33.00 | — | 33.00 | 66.00 |
| 29年3月期 | — | — | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | 33.00 | — | 33.00 | 66.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 47,700 | 1.3 | 3,400 | △21.5 | 3,200 | △25.9 | 1,700 | △39.6 | 89.32 |
| 通期 | 100,000 | 4.7 | 7,800 | △4.4 | 7,550 | △6.3 | 4,650 | △5.5 | 244.32 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年3月期1Q | 19,267,760 株 | 28年3月期 | 19,267,760 株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期1Q | 235,310 株 | 28年3月期 | 235,267 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 29年3月期1Q | 19,032,459 株 | 28年3月期1Q | 19,162,539 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続を実施中ではありません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州においては緩やかな回復基調となりましたが、一方で英国のEU離脱問題がもたらす経済影響への懸念に加え、中国経済の減速が長期化するなど、景気の先行きは不透明な展開が続いております。国内経済においては、雇用情勢は回復傾向にあるものの、個人消費は伸び悩み、急激な円高の進行に伴う企業収益への影響が懸念されるなど、下振れリスクの強い不安定な展開となりました。

このような環境の下、ライフサイエンス事業、建築資材事業の売上が伸び悩む展開となったことに加え、情報電子事業で市場動向を受け大きく減収となったことから、当社グループの売上は前年同期比で減少いたしました。

損益面では、生産効率の向上、高付加価値製品の販売強化、コスト削減などに努めたものの、減価償却費を中心とした台湾連結子会社における固定費の増加や、研究開発費の増加、営業外収支の悪化などがあったことにより、前年同期比で減益となりました。

その結果、当連結会計年度における業績は、売上高226億50百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益16億80百万円（前年同期比26.2%減）、経常利益16億19百万円（前年同期比33.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億13百万円（前年同期比35.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ライフサイエンス事業)

生活用包装材において拡販を進め増収となったことに加えて、国内連結子会社の商品販売が増加しました。その一方、食品用包装材ならびに医薬・医療用包装材では売上微減の展開となり、液体容器は不採算部門の解消を進めたことなどにより大きく減収となりました。

この結果、売上高は112億75百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

(情報電子事業)

剥離フィルムについては中国スマートフォン向けを中心に受注を確保し堅調に推移しました。情報記録用材は、パソコン・サーバー向けの販売は堅調だったものの、市場が成熟期を迎えつつあるスマートフォン向けの受注は伸び悩みました。プロテクトフィルムは、台湾子会社で量産体制を整え増収を確保したものの、業界における生産調整の影響等を受け、売上が大きく伸び悩み、全体では前年同期比で減収の展開となりました。

この結果、売上高は84億59百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

(建築資材事業)

建材関連においては、首都圏再開発物件等により煙突工事並びに空調用配管の売上は堅調に推移したことに加え、集合住宅向けボイドスラブ（床構造部材）の売上も前年を上回ることができました。土木関連については、トンネル用資材の売上が減少いたしました。

この結果、売上高は29億16百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金、有形固定資産などが減少しましたが、短期の有価証券などが増加したことにより、前年度末に対して6億62百万円増加の891億86百万円となりました。

負債につきましては、仕入債務、未払法人税等、賞与引当金などが減少しましたが、未払金や借入金などが増加したことにより、前年度末に対して1億67百万円増加の348億10百万円となりました。

純資産は、非支配株主持分6億84百万円を含めて543億76百万円となり、自己資本比率は59.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、平成28年6月23日付の「PT Kingsford Holdingsの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」で公表しましたとおり、当社はPT Kingsford Holdings（所在地インドネシア）を子会社化することとなりましたが、当連結会計年度における業績への影響を現在精査中の為、連結業績に与える影響が大きい場合には、別途お知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

このことが当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,949 | 2,323 |
| 受取手形及び売掛金 | 27,715 | 27,619 |
| 有価証券 | 6,898 | 10,998 |
| 商品及び製品 | 3,453 | 3,529 |
| 仕掛品 | 1,224 | 1,316 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,239 | 2,193 |
| 繰延税金資産 | 701 | 797 |
| その他 | 1,472 | 1,935 |
| 貸倒引当金 | △6 | △7 |
| 流動資産合計 | 49,647 | 50,705 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 34,670 | 35,308 |
| 減価償却累計額 | △19,118 | △19,458 |
| 建物及び構築物 (純額) | 15,551 | 15,849 |
| 機械装置及び運搬具 | 48,044 | 48,513 |
| 減価償却累計額 | △39,633 | △39,936 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 8,410 | 8,577 |
| 工具、器具及び備品 | 5,318 | 5,381 |
| 減価償却累計額 | △4,646 | △4,698 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 672 | 682 |
| 土地 | 5,848 | 5,798 |
| 建設仮勘定 | 2,460 | 1,687 |
| その他 | 14 | 3 |
| 減価償却累計額 | △13 | △2 |
| その他 (純額) | 0 | 0 |
| 有形固定資産合計 | 32,944 | 32,596 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 571 | 518 |
| その他 | 741 | 670 |
| 無形固定資産合計 | 1,312 | 1,189 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,669 | 3,717 |
| 繰延税金資産 | 430 | 458 |
| その他 | 556 | 555 |
| 貸倒引当金 | △37 | △36 |
| 投資その他の資産合計 | 4,619 | 4,694 |
| 固定資産合計 | 38,876 | 38,481 |
| 資産合計 | 88,524 | 89,186 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 19,531 | 19,259 |
| 短期借入金 | 1,320 | 2,043 |
| 未払金 | 3,356 | 4,195 |
| 未払法人税等 | 1,444 | 764 |
| 賞与引当金 | 1,419 | 710 |
| 役員賞与引当金 | 118 | 31 |
| その他 | 1,502 | 1,690 |
| 流動負債合計 | 28,693 | 28,695 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 313 | 533 |
| 繰延税金負債 | 507 | 507 |
| 退職給付に係る負債 | 3,977 | 3,981 |
| 役員退職慰労引当金 | 487 | 490 |
| その他 | 662 | 602 |
| 固定負債合計 | 5,948 | 6,115 |
| 負債合計 | 34,642 | 34,810 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,600 | 6,600 |
| 資本剰余金 | 7,654 | 7,654 |
| 利益剰余金 | 37,263 | 37,648 |
| 自己株式 | △501 | △501 |
| 株主資本合計 | 51,017 | 51,402 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,089 | 1,120 |
| 為替換算調整勘定 | 1,023 | 1,111 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △200 | △191 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,912 | 2,040 |
| 新株予約権 | 236 | 248 |
| 非支配株主持分 | 715 | 684 |
| 純資産合計 | 53,881 | 54,376 |
| 負債純資産合計 | 88,524 | 89,186 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 23,729 | 22,650 |
| 売上原価 | 18,135 | 17,477 |
| 売上総利益 | 5,593 | 5,173 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,316 | 3,492 |
| 営業利益 | 2,277 | 1,680 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 3 |
| 受取配当金 | 85 | 56 |
| 受取保険金及び配当金 | 1 | 4 |
| 為替差益 | 41 | - |
| その他 | 43 | 42 |
| 営業外収益合計 | 173 | 107 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3 | 4 |
| 売上割引 | 8 | 8 |
| 為替差損 | - | 154 |
| その他 | 4 | 1 |
| 営業外費用合計 | 16 | 168 |
| 経常利益 | 2,433 | 1,619 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 0 |
| 特別利益合計 | - | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | - | 40 |
| 固定資産除却損 | 2 | 0 |
| 投資有価証券売却損 | 9 | - |
| 特別損失合計 | 12 | 40 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,421 | 1,579 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 916 | 731 |
| 法人税等調整額 | △77 | △143 |
| 法人税等合計 | 839 | 588 |
| 四半期純利益 | 1,582 | 991 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 13 | △21 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,568 | 1,013 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,582 | 991 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 60 | 30 |
| 為替換算調整勘定 | △92 | 96 |
| 退職給付に係る調整額 | 5 | 9 |
| その他の包括利益合計 | △26 | 136 |
| 四半期包括利益 | 1,555 | 1,128 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,548 | 1,141 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 7 | △13 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|--------------|-------|-------|--------|--------------|--------------------------------|
| | ライフ サイエンス | 情報電子 | 建築資材 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,417 | 9,260 | 3,051 | 23,729 | - | 23,729 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 63 | 189 | 20 | 273 | △273 | - |
| 計 | 11,481 | 9,449 | 3,071 | 24,003 | △273 | 23,729 |
| セグメント利益 | 595 | 1,565 | 116 | 2,277 | - | 2,277 |

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|--------------|-------|-------|--------|--------------|--------------------------------|
| | ライフ サイエンス | 情報電子 | 建築資材 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,275 | 8,459 | 2,916 | 22,650 | - | 22,650 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 60 | 199 | 22 | 282 | △282 | - |
| 計 | 11,335 | 8,659 | 2,938 | 22,933 | △282 | 22,650 |
| セグメント利益 | 744 | 807 | 128 | 1,680 | - | 1,680 |

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

(株式取得による会社等の買収)

当社はヘルスケア事業のグローバル展開のため、PT Avesta Continental Pack (所在地インドネシア) とPT Indogravure (所在地インドネシア) を傘下に持つPT Champion Pacific Indonesia Tbk (所在地インドネシア、以下Champion) を買収する為に、Championの79.42%の株式を保有するPT Kingsford Holdings (所在地インドネシア) の全株式をChampion Pacific Limitedからアジア・大洋州三井物産株式会社 (三井物産株式会社100%の海外関係会社) と共同で取得する契約を平成28年6月23日に締結し、平成28年8月1日付で株式を取得しました。

(1) 株式取得の目的

当社では創造的、効率的な成長を目指して、「成長軸の強化」「効率の重視」「自己変革」を掲げ、グローバル視点に立った「コトづくり・モノづくり」を成長のエンジンとして取り組んでおります。PT Avesta Continental PackとPT Indogravureは主として医薬品の包装材料を製造販売しており、今回の株式取得により、当社の技術を組み合わせることで、今後の成長が見込まれる東南アジア市場での包装事業を拡大させ、グローバル展開を加速させていきます。

(2) 株式取得相手の名称

Champion Pacific Limited

(3) 買収した会社の概要

| | |
|-------|------------------------------------|
| 名称 | PT Kingsford Holdings |
| 所在地 | インドネシア西ジャワ州ブカシ市 |
| 代表者 | PATRICK TAK KEE YU |
| 設立年月日 | 2008年9月15日 |
| 資本金 | 70,000,016,250 インドネシアルピア (529万米ドル) |

(4) 株式取得の時期

平成28年8月1日

(5) 取得した株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

| | |
|-----------|------------|
| ①取得した株式の数 | 4,590,165株 |
| ②取得価額 | 20百万米ドル |
| ③取得後の持分比率 | 60.00% |

(6) 支払資金の調達及び支払方法

自己資金

(7) その他

尚、上記 PT Kingsford Holdingsの株式取得価額に加え、今後予定している、傘下企業の株式取得金額、アドバタイザリー費用等を含めた概算金額は約39百万米ドルです。